

JO 2020: le designer du logo réfute avoir plagié le théâtre de Liège

Par Le Soir

1. Kenjiro Sano est accusé de plagiat par le designer belge Olivier Debie. Le designer du logo des JO de Tokyo 2020, Kenjiro Sano, a nié mercredi tout plagiat et essayé de prouver sa bonne foi en expliquant la façon dont il l'avait créé.

2. « *C'est un emblème né de mon imagination, une œuvre de ma création* », et les accusations de plagiat du logo du théâtre de Liège sont « *sans fondement* », a-t-il assuré devant une salle emplies de journalistes à Tokyo.

3. Olivier Debie et le logo qu'il a créé pour le théâtre de Liège. Les accusations de plagiat sont « *très regrettables, attristantes, bien entendu cela m'a affecté, mais j'ai créé ce logo ex-nihilo* », a-t-il affirmé.

4. « Je ne suis jamais allé en Belgique »

La polémique sur les ressemblances entre cette image symbole des JO de Tokyo et celle du théâtre de Liège créée par le designer Olivier Debie dure depuis une semaine. Elle a pris corps sur les réseaux sociaux. M. Sano n'avait jusqu'à présent réagi que par écrit pour cause de déplacement à l'étranger.

5. « *J'ai été très surpris par cette réaction du designer du logo du théâtre de Liège. Je ne suis jamais allé en Belgique, je n'ai jamais vu ce logo, je n'ai pas compris ce qui m'arrivait et j'ai alors vécu des moments d'inquiétude* », a confié M. Sano.

6. « *Pour moi, créer le logo de Tokyo 2020, c'était un rêve, une chance dans ma carrière et j'y ai travaillé avec ardeur* ». Le logo du théâtre de Liège et celui de Tokyo 2020 « *ne se ressemblent pas car la pensée qui sous-tend leur conception est totalement différente* », a-t-il dit.

日本語訳

1. 佐野研二郎氏は剽窃の疑いでベルギー人デザイナーの Olivier Debie 氏から告訴されている。2020年東京オリンピックのロゴ制作者である佐野研二郎氏は今週の水曜日、一連の盗作疑惑に関して否定し、ロゴを制作した方法を説明することで誠意を示そうと努めた。
2. 「これは私のアイデアから生まれたシンボルマーク、私の想像から生まれた作品であり、そしてリエージュ劇場のロゴ盗作に関する非難はすべて事実無根である。」と彼は東京で行われた会見に殺到する記者たちの前で断言した。
3. Olivier Debie と彼がリエージュ劇場のために制作したロゴ。盗作に関する非難は「とても遺憾であり、悲しいものである、そして何より私に被害を及ぼすものだ。私はこの作品をゼロから作りだしたというのに。」と彼は述べた。
4. 「私は一度もベルギーを訪れたことがない」

この東京オリンピックのイメージシンボルと Olivier Debie 氏によって制作されたリエージュ劇場のロゴとの類似性についての論争は一週間前から続いている。この論争はソーシャルネットワーク上で火が付いた。佐野氏は現在に至るまで海外出張を理由に書面でしか回答していない。
5. 「私はリエージュ劇場のロゴ制作者による対応にとっても驚いている。私は一度もベルギーに行ったことはないし、一度もこのロゴを見たことがない。なので私に何が起きているのか分からないし、その当時不安な時を過ごしていた。」と佐野氏は打ち明けた。
6. 「私にとって 2020 年東京オリンピックのロゴを制作することは、夢であり、経歴を積むチャンスであったので熱心にその仕事に専念した。リエージュ劇場のロゴと 2020 年東京オリンピックのロゴには類似性がない。というのも構想の基盤となる考えが全く異なるからである。」と彼は述べた。

単語・熟語/文法解説

1. accuser 人 de+動詞：～したことに對して人を非難する/告訴する

plagiat：盗作・剽窃

nier：～を否定する

la bonne foi：誠意

- accuser は「非難する」「告訴する」二つの意味があるがここでは「告訴する」の意味のほうが強い。
- belge は「ベルギー人」を意味する。ベルギーという国名は **La Belgique** で表すことができる。
- designer は英語からの借用語であり、発音も英語風である。意味は「デザイナー・制作者」、同義語のフランス語として **dessinateur** が挙げられる。
- en expliquant は手段を表すジェロンディフである。「～することで」と訳すのがよい。

2. emblème：シンボル

accusation：非難・告訴

sans fondement：事実無根

assurer：～を断言する

empli de：～で満ちた・～でいっぱい

- une œuvre の後には本来は **né** が書かれるはずだが、すでに **C'est un emblème né de mon imagination** の部分で **né** が使われているため同じ語の繰り返しを避ける目的で省略されている。
- この一文は主語と述語の語順が倒置している。本来ならば **Il a assuré que c'est un emblème né de mon imagination, une œuvre de ma création, et les accusations de plagiat du logo du théâtre de Liège sont « sans fondement » devant une salle emplie de journalistes à Tokyo.** という語順になるはずだがニュースでは、誰がどこで話をしたかという部分よりも話した内容を読者に先に伝えようとするため語順が倒置している。さらにフランス語の文は長い述語を嫌うため主語と述語の順番が入れ替わっていることも理由として挙げられる。

3. regrettable : 遺憾な

attristant : 悲しませるような

bien entendu : もちろん

affecter : ～を悲しませる

ex-nihilo : 無から

- 形容詞 attristant は同じく形容詞である triste 「悲しい」から派生した単語である。
- ex-nihilo はラテン語由来の単語である。
- この文でも主語と述語の倒置が起きている。

4. polémique : 論争

ressemblance : 類似性

durer : 続く

prendre corps : 具体化する・火が付く

jusqu'à présent : 現在に至るまで

réagir : 反応する・対応する

par écrit : 書面で

pour cause de : ～の理由で

déplacement à l'étranger : 海外出張

- La polémique sur の sur は「～の上」という意味ではなく「～について」という意味である。
- celle は l'image symbole を言い換えている。
- pour cause de は基本的に文章でのみ使われる。会話では代わりに à cause de を使うことが多い。

5. surpris : 驚いた

arriver : 起こる

alors : その時

confier : ～を打ち明ける

- vécu は vivre の過去分詞である。不定法と過去分詞の形が大きく異なるので注意する必要がある。
- この文でも主語と述語の倒置が起きている。

6. carrière : キャリア・経歴

travailler à : ～に専念する

avec ardeur : 熱心に

se ressembler : 類似している

sous-tendre : 基盤となる

conception : 構想

- créer は不定詞だがここでは名詞的に用いられている。[不定法の名詞的用法：～すること]
- celui は le logo を言い換えている。